

兵庫県地域創生戦略実施状況

- 1 第三期兵庫県地域創生戦略の推進体制
- 2 第三期兵庫県地域創生戦略の施策体系及び評価体系
- 3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

〔参考〕 戦略推進プロジェクト R8年度の主な取組

1 第三期兵庫県地域創生戦略の推進体制

区分	地域創生戦略会議	地域創生アクション委員会	地域創生推進本部
設置目的 (地域創生戦略上の位置付け)	本戦略の策定・推進にあたり、産学官金労言の有識者による助言を受けるため	戦略推進プロジェクト (PJ) への参画を通じて、県や関係者等との意見交換、新たな視点の提案などにより実効性のあるPJの推進方策の検討及び効果的な広報・PR手法を検討するため	本戦略の策定・推進について、全庁を挙げて総合的に取り組むため (本部長は知事)
下部組織	(必要に応じて) 企画委員会	—	(必要に応じて) 専門部会
要綱上の所掌事務	① 戦略の推進、検証 に係る指導・助言 ② 地域創生の推進 に関する事項に係る指導・助言 【企画委員会】 戦略の方向性や施策の協議 等	①戦略推進PJへの参画を通じた改善点や新たな視点の提案 ②効果的な広報・PR手法に関すること ③その他必要な事項	①地域創生に係る施策の企画・総合調整に関すること ②地域創生に係る施策の推進に関すること ③その他地域創生に関すること
設置年度	戦略策定時から既設	R7年度から設置	戦略策定時から既設

【参考】戦略のマネジメントサイクル

施策の進捗状況の検証	戦略会議において有識者から助言を受けるとともに、アクション委員会で実施状況を踏まえた新たな視点の提案等によるフォローアップを実施
アクション・プランの策定	取り組むべき対策を盛り込んだアクションプランを毎年度策定
県議会との連携	現状や課題等を共有するとともに、連携・協力して推進を図る

2 第三期地域創生戦略の施策体系及び評価体系

基本理念

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ
～地域や人をつなぐ「縁」を生みだし、共創の取組を五国に拡げる～

3つの柱 [政策]

自分らしく生きられる社会の創出

五国に拡がる可能性の追求

暮らしの持続性の確保

- ①多様な学びや働き方が叶う社会を創る
- ②居場所と役割を創る
- ③寛容性を拡げる

- ④ひとの動きを生み出す
- ⑤地域の固有性を磨く
- ③経済活力を創出する

- ⑦人・自然・文化を次代につなぐ
- ⑧安心して暮らし続けられる地域を創る

8つの方向性 [施策]

8つの方向性ごとに指標・目標(187)を設定
進捗状況を定量的に評価

重点的に取り組むべき課題への対応

戦略推進プロジェクト

- ①若者・Z世代応援プロジェクト
- ②ひとりじゃないプロジェクト
- ③外国人「第二のふるさと」プロジェクト
- ④五国の“ナリワイ”育むプロジェクト
- ⑤ひょうご五国豊穰プロジェクト
- ⑥五国のご縁(五縁)プロジェクト

具体的な個別事業

各個別事業の進捗指標

事務事業評価等による検証

各地域における取組方針

各県民局・県民センターで取組方針を策定するとともに、指標・目標を設定

2 第三期地域創生戦略の施策体系及び評価体系

【参考】 8つの方向性と主な施策キーワード

3つの柱

自分らしく生きられる社会の創出

幸せが実感できる地域であるためには、自分らしく生きられる環境づくりが求められる。学び、働き方、暮らしに多様な選択肢が用意され、社会的なつながりの中で誰もが居場所と役割を持てる社会を目指す。

五国に広がる可能性の追求

兵庫は多様な地域性を持ち、生活や伝統、歴史文化、自然景観、産業基盤など地域資源の宝庫である。このポテンシャルを最大限に活かすことが必要であり、各地の個性・強みを磨くとともに、それらを繋ぎ、掛け合わせることで、地域活力創出の相乗効果を生み出していく。

暮らしの持続性の確保

少子化対策や若者の県内定着など、人口減少の抑制に力を注ぐとともに、生活機能の維持をはじめ、防災・防犯対策、自然環境や文化の保全等、人口が減っても安全安心に、質の高い暮らしができる環境づくりを加速していく。

8つの方向性と主な施策キーワード

① 多様な学びや働き方が叶う社会を創る

・次代を担う人材を育成する教育の推進 ・高等教育等の負担軽減
・教育環境の整備・充実 ・県内大学の機能強化 ・学び直しの機会の充実
・多様な働き方の推進 ・若者の起業促進

② 居場所と役割を創る

・「孤独・孤立」対策による地域支援体制の強化 ・ひきこもり対策の推進
・不登校支援の強化 ・課題を抱える若者等への支援強化
・高齢者・障害者の社会参加の促進 ・単身高齢世帯等への見守り強化

③ 寛容性を広げる

・外国人の活躍支援、暮らしへの支援体制の強化 ・女性の活躍推進
・偏見や差別の解消への取組強化 ・特別支援教育の推進
・芸術文化・スポーツの振興

④ ひとの動きを生み出す

・移住促進の強化 ・県内就職・定住の意識高揚 ・多主体連携の推進
・空き家活用による地域活性化 ・国内観光・インバウンドの活性化
・関係人口の拡大 ・交流を支える交通基盤の充実

⑤ 地域の固有性を磨く

・地場産業の新たな展開への支援 ・ひょうごフィールドパビリオンの推進
・県の強みを活かした産業基盤の強化 ・芸術文化に親しむ機会の充実
・スポーツを通じた地域づくりの推進

⑥ 経済活力を創出する

・成長産業の育成 ・起業・創業の支援 ・県内企業とのマッチング強化
・ものづくり産業の経営基盤の促進 ・人手不足対策の強化
・食と農業の活性化 ・担い手確保・育成 ・持続可能な農村地域づくり

⑦ 人・自然・文化を次代につなぐ

・出会い・結婚支援の充実 ・育児支援体制の強化 ・保育環境の充実
・子育て家庭を見守る地域づくり ・脱炭素化の推進 ・生物多様性の保全
・豊かな環境の保全と創造

⑧ 安心して暮らし続けられる地域を創る

・多自然地域における持続可能な生活圏の構築 ・地域医療体制の確保
・高齢者が安心して暮らせる地域づくりの推進 ・健康づくりの推進
・地域の安全・安心を守る体制の強化 ・防災・減災対策、防災力の強化

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（１）主要指標※の達成状況 ※進捗を端的に示すことができ、複数の事業により連動する守備範囲が比較的大きい指標として設定

8つの方向性ごとに、客観指標（直接的な効果・成果）と主観指標（間接的な効果・成果）を分けて、指標・目標の達成状況をもとに評価を実施

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満
未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

区分	客観/主観	A	B	C	D	合計	未判明	A+B/合計
①多様な学びや働き方が叶う社会を創る	客観	0	1	1	0	2項目	0	60.0%
	主観	1	1	1	0	3項目	0	
②居場所と役割を創る	客観	0	1	0	0	1項目	3	66.7%
	主観	0	1	1	0	2項目	0	
③寛容性を広げる	客観	2	1	0	0	3項目	0	100.0%
	主観	1	0	0	0	1項目	0	
④ひとの動きを生み出す	客観	1	1	0	0	2項目	2	100.0%
	主観	0	0	0	0	0項目	0	
⑤地域の固有性を磨く	客観	0	0	0	0	0項目	1	100.0%
	主観	1	2	0	0	3項目	0	
⑥経済活力を創出する	客観	2	1	0	0	3項目	2	100.0%
	主観	1	0	0	0	1項目	0	
⑦人・自然・文化を次代につなぐ	客観	0	0	0	0	0項目	2	100.0%
	主観	2	0	0	0	2項目	0	
⑧安心して暮らし続けられる地域を創る	客観	0	0	1	0	1項目	1	75.0%
	主観	1	2	0	0	3項目	0	
合計		12項目	11項目	4項目	0項目	27項目	11項目	87.7%

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

〈参考〉全体の指標・目標

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満
未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

区分	客観 / 主観	A	B	C	D	合計	未判明	A+B / 合計
①多様な学びや働き方が叶う社会を創る	客観	5	5	3	0	13項目	2	84.6%
	主観	7	5	1	0	13項目	0	
②居場所と役割を創る	客観	1	1	2	1	5項目	7	60.0%
	主観	2	2	1	0	5項目	0	
③寛容性を広げる	客観	4	2	0	0	6項目	3	100.0%
	主観	6	0	0	0	6項目	0	
④ひとの動きを生み出す	客観	10	4	3	0	17項目	3	84.2%
	主観	1	1	0	0	2項目	0	
⑤地域の固有性を磨く	客観	1	1	1	0	3項目	2	88.9%
	主観	3	3	0	0	6項目	0	
⑥経済活力を創出する	客観	15	5	1	1	22項目	16	89.7%
	主観	3	3	1	0	7項目	0	
⑦人・自然・文化を次代につなぐ	客観	6	3	2	3	14項目	6	77.3%
	主観	6	2	0	0	8項目	0	
⑧安心して暮らし続けられる地域を創る	客観	4	1	2	0	7項目	7	86.7%
	主観	5	3	0	0	8項目	1	
合計		79項目	41項目	17項目	5項目	142項目	47項目	84.5%

※再掲項目も計上

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（2）主要指標の達成状況の詳細

①多様な学びや働き方が叶う社会を創る

○ 基本的方向性

- 自己実現がより重視され、自分らしい生き方を追求する人の割合が高まっている中、一層重要性を増しているのは、個性や創造性を尊重し、学びたいことを主体的に学べる環境である。
- 主体性と好奇心を育むインターンシップなどの体験型学習や、国際交流・海外留学を通じたグローバル人材の育成プログラムなど、多様で質の高い、特色ある教育環境を提供する。
- ワーク・ライフ・バランスや柔軟な労働時間・場所の選択、マルチワークなど、ライフスタイルに合わせて働ける環境を整えるとともに、環境変化に対応するためのリスキング等を推進する。

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満、未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
自校の魅力・特色を実感している生徒の割合（高校）	主観	C	72.7% [81.0%]	85.0%
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	主観	B	小学生 82.3% [83.1%（全国平均）] 中学生 65.2% [67.5%（全国平均）]	全国平均以上
県内大学卒業生の県内企業就業率	客観	C	27.8% [33.0%]	33.0%
仕事と生活の調和推進企業認定件数（累計）	客観	B	616社 [630社]	870社
多様な働き方を選択しやすい社会だと思っている人の割合	主観	A	26.7% [22.7%（R6実績）]	R10実績を上回る

〈その他指標の達成状況〉 A及びB評価：22/26項目 [84.6%]（未判明:2項目）

主な指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
目的を持って学んでいるものがある人の割合	主観	B	37.9% [38.9%（R6実績）]	75.0%
将来の生き方や職業について考え、それを実現するために努力している生徒の割合	主観	B	67.3% [71.0%]	75.0%
県内大学生の県内就職希望率	客観	B	70.3% [76.0%]	80.0%
仕事と自分の生活の両立ができていると思う人の割合	主観	A	56.5% [55.2%（R6実績）]	R10実績を上回る
自分にあった職業への就職や転職がしやすい社会だと思う人の割合	主観	A	16.2% [14.0%（R6実績）]	R10実績を上回る

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（2）主要指標の達成状況の詳細

②居場所と役割を創る

○ 基本的方向性

- 都市化等に伴う地域コミュニティの絆の希薄化や、高齢化・未婚化等に伴う単身世帯の増加、デジタル化による対面コミュニケーションの減少により、住民が孤立しやすい環境が広がっている。更に、コロナ禍により「孤独・孤立」の問題が一層顕在化した。
- 誰もが居場所と役割をもつ社会の実現に向けて、多様な世代や背景を持つ人々の交流の場の創出や、ひきこもりや不登校児童生徒に対する対策・支援の強化、ヤングケアラー等課題を抱える人々への伴走支援、孤独・孤立リスクの高い人々を支えるセーフティネットの充実などを進める。

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満、未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
不登校児童生徒が学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けた割合 [小・中]	客観	未判明	R8.10月頃 [全国平均以上]	全国平均以上
住民主体の通いの場への高齢者参加率	客観	未判明	R9.3月頃判明 [11.6%]	11.6%
孤立しがちな人を生まないように気をつけあう社会であると感じる人の割合	主観	C	9.0% [10.4% (R6実績)]	R10実績を上回る
職場や学校、家庭以外に、安心感や充実感を得られる場があると思う人の割合	主観	B	38.3% [38.4% (R6実績)]	R10実績を上回る
高齢者（65歳～74歳）の有業率	客観	未判明	R10年 [R7目標設定なし(R4実績37.3%)]	41.2%
障害者雇用率（法定雇用率）	客観	B	2.45% [2.5%]	2.7%

＜その他指標の達成状況＞ A及びB評価：6/10項目 [60.0%] （未判明:7項目）

主な指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
不登校児童生徒数の全児童生徒数に占める割合[小・中・高]	主観	未判明	R8.10月頃 [全国平均以下]	全国平均以下
知人や親戚など頼りになる人が近所にいる人の割合	主観	A	63.4% [63.1% (R6実績)]	R10実績を上回る
住んでいる地域で異なる世代の人とつきあいがある人の割合	主観	B	42.6% [44.1% (R6実績)]	R10実績を上回る
ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたい人の割合	主観	A	32.1% [31.0% (R6実績)]	R10実績を上回る
シルバー人材センター事業就業実人員数	客観	C	28,155人 [35,000人]	35,000人
法定雇用率適用企業で雇用される障害者数	客観	A	18,532.5人 [18,011.5人(R6実績)]	R10実績を上回る 7

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（2）主要指標の達成状況の詳細

③寛容性を広げる

○ 基本的方向性

- 寛容性の高い地域は、多様な価値観やバックグラウンドを持つ人々を自然と惹きつける。そのような人々が地域社会に参画することで、新しいアイデアや視点をもたらされ、多様性を活かした魅力的な地域づくりが進む。こうした取組は、地域の活力を高めるうえで欠かせない重要な要素である。
- 兵庫は明治の神戸港開港を契機に、日本における海外との玄関口として、多様な文化や人々を受け入れてきた。これにより、国際性豊かな地域として発展を遂げた歴史を持つ。こうした兵庫だからこそ、一層寛容性を広げていく必要がある。
- ユニバーサル社会づくりや多文化共生の推進、ダイバーシティ&インクルージョンを推進する企業等の拡大、若年女性の地域定着に向けた固定的な性別役割分担意識等の見直しなど、寛容性の高い地域の実現を目指す。

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満、未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
県内外国人労働者数	客観	A	77,016人 [62,000人]	80,000人
県立大学の海外留学生数（受入人数）	客観	B	299人 [300人]	300人
住んでいる地域には年齢・性別・障害の有無等に関わりなく暮らしやすい環境が整っていると思う人の割合	主観	A	37.1% [36.0%（R6実績）]	R10実績を上回る
ミモザ企業認定数	客観	A	244社 [189社]	289社

〈その他指標の達成状況〉 A及びB評価：12/12項目 [100.0%] （未判明:3項目）

主な指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
外国人材(専門的・技術的分野)の受入数	客観	A	24,195人 [18,800人]	31,000人
外国人の増加数（累計）	客観	A	13,299人 [11,000人]	55,000人
外国の文化や人々と接してみたいと思う人の割合	主観	A	38.9% [37.5%（R6実績）]	R10実績を上回る
子育てとの両立がしやすい労働環境が整っている社会だと思う人の割合	主観	A	17.1% [14.7%（R6実績）]	R10実績を上回る

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（２）主要指標の達成状況の詳細

④ひとの動きを生み出す

○ 基本的方向性

- 人の動きを活発化させることは、新たな活力を生み、地域の経済や社会の持続可能性を高める。
- 多様な自然環境、豊かな食文化、優れた教育・住環境、都市と農山村の近接性など、五国の強みを活かした移住施策を一層推進する。
- また、2025年大阪・関西万博、ワールドマスタースゲームズ2027関西、神戸空港の国際化などを好機とした観光交流人口の拡大が重要である。その土地ならではの食や文化に触れる機会、地元の人々との交流やローカルな体験など、独自性を求める傾向が強まっていることを踏まえ、地域が一体となった観光施策を展開する。
- さらに、地域に継続的に関わりを持つ関係人口の拡大を通じて、地域の課題解決に向けた取組などを拡げる。

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満、未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
県内への転入超過数（外国人含む）	客観	未判明	R8.12月頃 [3,800人]	5,400人
ファミリー層の転入超過数	客観	A	2,885人 [1,300人]	1,300人
移住施策による県外からの転入者数(累計) [県・市町統合指標]	客観	B	7,314人 [8,000人]	12,000人
県内観光消費額	客観	未判明	R8.10月頃 [R7目標設定なし(R6実績15,059億円)]	14,500億円の維持
外国人延べ宿泊者数	客観	—	199万人 [R7目標設定なし(R6実績151万人)]	300万人の維持

＜その他指標の達成状況＞ A及びB評価：16/19項目【84.2%】（未判明:3項目）

主な指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
20～30歳代女性の転入超過数（日本人）	客観	A	▲2,244人 [▲2,310人]	0人
ひょうご移住・しごとプラザ移住相談件数	客観	A	1,398件 [1,200件]	1,520件
20歳代前半の若者定着率	客観	B	91.2% [91.9%]	93.0%
空き家活用件数 [県・市町統合指標]	客観	A	412件 [366件]	366件
宿泊者数（延べ人数）	客観	未判明	1,440万人 [R7目標設定なし(R6実績1,651万人)]	1,800万人の維持

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（2）主要指標の達成状況の詳細

⑤地域の固有性を磨く

○ 基本的方向性

- 兵庫は豊かな自然、厚みのある歴史や文化、五国に根付く地場産業など、多彩な地域資源に恵まれている。その地ならではの個性や強みを活かす取組は、地域間競争の中で差別化を図る上でも、また、地域の一体感・帰属意識を高める上でも一層重要になっている。
- 県内各地で展開されるSDGs体験型地域プログラムの認定、磨き上げやプロモーションを通じて、地域活性化やシビックプライドの醸成を図る「ひょうごフィールドパビリオン」の展開により、酒造・皮革・播州織などの地場産業や、五国の地域性が生む多様な文化・郷土料理・自然資源などの評価・発掘が進んでいる。今後、プログラムのさらなる磨き上げやP R、ブランディングの強化によって、地域の魅力を最大限に引き出す。
- また、地域資源としてアートやスポーツの重要性が高まっており、芸術文化活動への支援、プロスポーツクラブとの連携などを一層推進する。さらに、水素等の新産業、有機農業等の環境創造型農業など、産業分野での兵庫の強みも磨き上げていく。

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満、未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
地場産業の生産額（主要産地）	客観	未判明	R10.1月頃 [1,900億円の維持]	1,900億円の維持
住んでいる地域に自慢したい宝（風景や産物、文化など）があると思う人の割合	主観	A	43.3% [40.9%（R6実績）]	R10実績を上回る
暮らしの中で芸術文化を楽しむ機会を持っている人の割合	主観	B	38.3% [39.2%（R6実績）]	R10実績を上回る
スポーツ観戦をしている人の割合	主観	B	44.8% [46.3%（R6実績）]	R10実績を上回る

〈その他指標の達成状況〉 A及びB評価：8/9項目 [88.9%]（未判明:2項目）

主な指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
全国シェア1位の主要地場産業産地数	客観	未判明	R10.1月頃 [8産地]	8産地
住んでいる地域で伝統芸能・文化などが受け継がれていると思う人の割合	主観	A	40.6% [37.6%（R6実績）]	R10実績を上回る
運動・スポーツが好きな子どもの割合	主観	B	86.3% [88.2%]	91.4%

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（2）主要指標の達成状況の詳細

⑥経済活力を創出する

○ 基本的方向性

- 兵庫の発展には地域経済の活性化が不可欠であり、総合的な対策が求められる。
- 多くの若者が就職を機に県外へ転出している状況を踏まえ、若者が志向する雇用の場の確保や、スタートアップエコシステムの強化を進めるとともに、水素等新エネルギー、航空・宇宙産業、ロボット・AI・IoT、健康・医療、半導体・蓄電池といった成長産業のさらなる振興を図る。
- また、深刻化する人手不足に対応していくため、労働環境の改善やDX化・ロボットの導入などを促進するほか、事業承継への支援に取り組む。
- さらに、「農」の振興に向け、五国兵庫ならではの特産品ブランドの強化や高付加価値化、多様な担い手の確保・育成、スマート農業の普及促進を通じた生産性向上など、農林水産業の発展に力を注ぐ。

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満、未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
県内一人あたり県内総生産（GDP）の伸び	客観	未判明	R8.8月頃 [国を上回る伸び]	国を上回る伸びを維持
工場立地件数（工場立地法に基づく工場立地動向調査結果）	客観	B	51件 [56件]	64件
製造品付加価値額	客観	A	62,135億円 [59,081億円]	61,477億円
スタートアップ創出数	客観	A	31件 [30件]	30件
住んでいる地域に優れた製品・技術・ブランド力をもった企業があることを知っている人の割合	主観	A	26.8% [25.7%（R6実績）]	R10実績を上回る
農林水産業産出額	客観	未判明	R9.3月頃 [2,235億円]	2,398億円

〈その他指標の達成状況〉 A及びB評価：26/29項目 [89.7%] （未判明:16項目）

主な指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
産業立地促進補助事業に係る補助実績	客観	B	84件 [90件（R6実績）]	R10実績を上回る
県の支援による新事業創出件数	客観	B	136件 [145件]	145件
商売、事業を新たに始めやすい社会だと思う人の割合	主観	A	11.8% [11.7%（R6実績）]	R10実績を上回る
住んでいる地域の企業に活気があると思う人の割合	主観	B	19.4% [20.1%（R6実績）]	R10実績を上回る

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（2）主要指標の達成状況の詳細

⑦人・自然・文化を次代につなぐ

○ 基本的方向性

- 出生数の減少が想定を上回るペースで進行する中、結婚や出産、子育ての希望が叶う環境の整備が欠かせない。出会い支援や保育・教育の充実、住まいの支援などを総合的に進める。
- また、五国に広がる豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐため、地球温暖化対策や生物多様性の保全、資源循環の推進など、自然と共生し、循環する兵庫を実現する。
- さらに、地域の生活文化は、人々のアイデンティティを育み、地域の誇りと連帯感を高める原動力であり、次代につないでいく取組を推進する。

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満、未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
合計特殊出生率	客観	B	1.23 [1.27]	1.27
住んでいる地域では、安心して楽しく子育てできると思う人の割合	主観	A	54.9% [54.4% (R6実績)]	R10実績を上回る
再生可能エネルギーによる発電量	客観	未判明	R8.9月頃 [81億kWh]	95億kWh
住んでいる地域で山、川、海などの自然環境が守られていると思う人の割合	主観	A	55.1% [53.2% (R6実績)]	R10実績を上回る

＜その他指標の達成状況＞ A及びB評価：17/22項目 [77.3%] （未判明:6項目）

主な指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
保育所等待機児童数	客観	D	199人 [0人]	0人
保育所・認定こども園等定員数（累計）	客観	B	124,759人 [124,800人]	125,600人
住んでいる地域には、地域で子どもを見守り育てる環境があると思う人の割合	主観	B	44.6% [45.0% (R6実績)]	R10実績を上回る
製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人の割合	主観	B	52.1% [53.5% (R6実績)]	R10実績を上回る
食品廃棄物をできるだけ出さない暮らしを心がけている人の割合	主観	A	85.0% [83.4% (R6実績)]	R10実績を上回る

3 実施状況（R7年度の指標・目標の達成状況）

（2）主要指標の達成状況の詳細

⑧安心して暮らし続けられる地域を創る

○ 基本的方向性

- 多自然地域を中心に、交通インフラや医療・介護、教育環境、商業施設など、住み続けられる環境の確保が課題となっている。都市部においても、老朽化したニュータウンの再生などが迫られている。このため、DXなど革新技術の活用等も図りながら、生活の利便性を高め、生活機能を維持するための取組を強化する。
- 加えて、防災力や防犯力の向上も欠かせない。巨大地震や風水害などに対する防災・減災対策を推進するとともに、増え続ける特殊詐欺をはじめとした防犯対策を強化する。さらに、高齢者が健康で活躍し続けられるよう、生活基盤や地域医療の整備、健康づくりを支援する仕組みを充実させる。

A:100%以上、B:90～100%未満、C:70～90%未満、D:70%未満、未判明:R8.7末時点で実績が判明していないもの

指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
住んでいる地域には、生活の不便さを補うさまざまなサービスが増えていると思う人の割合	主観	B	34.2% [36.7% (R6実績)]	R10実績を上回る
健康寿命（男性・女性）	客観	未判明	R9年 [R7目標設定なし]	男性 81.16 女性 86.05
住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合	主観	B	65.5% [68.0% (R6実績)]	R10実績を上回る
県内BCP策定率	客観	C	15.8% [20.4% (全国平均)]	全国平均並み
災害に備えて飲料水や食料品の備蓄をしている人の割合	主観	A	81.0% [80.1% (R6実績)]	R10実績を上回る

〈その他指標の達成状況〉 A及びB評価：13/15項目 [86.7%] （未判明:8項目）

主な指標名	主/客	評価	R7実績 [R7目標]	R11目標
住んでいる地域は、高齢になっても安心して暮らし続けられる地域だと思う人の割合	主観	B	43.6% [45.1% (R6実績)]	R10実績を上回る
住んでいる地域には、安心できる医療の環境が整っていると思う人の割合	主観	A	59.6% [56.3% (R6実績)]	R10実績を上回る
詐欺被害の手口や対策の認知度の向上	客観	A	30% [30%]	100%
家庭で災害に対する自主的な備えをしている人の割合	主観	A	42.7% [36.3% (R6実績)]	R10実績を上回る

【参考】戦略推進プロジェクト R8年度の主な取組

①若者・Z世代応援プロジェクト -望む学びや働き方が叶う環境づくり-

【趣旨・狙い】

次世代を担う若者が、望む学びや働き方、暮らし方ができ、存分に力を発揮できる社会の実現に向けた取組を推進

【主な取組】

- ・教育の経済的負担軽減や環境整備の促進、奨学金返済支援の充実
- ・不妊治療支援の強化、保育・子育て支援の充実
- ・子育て世帯向けの住環境整備の促進、子どもの遊び場の充実
- ・県内の魅力ある仕事と若者のマッチング促進、さらなる多様な働き方の推進



若者・Z世代応援パッケージ



ひょうご若者政策提案室 発足式

【R8年度主な事業】

事業名	事業概要	事業費
〔新〕 県立学校の魅力づくり（県立高校の魅力の再構築に向けた取組）	技術革新・産業構造の変化を踏まえた人材育成の先導的な取組を行う拠点校を創出するため、職業学科等における教育環境の充実等に取り組むとともに、取組・成果を域内の高校に普及するための発信を強化	1,123,253 千円
〔拡〕 アートで躍動Z世代文化部 応援プロジェクト	若者の芸術文化活動を支援するため、若者の芸術文化活動の発表の場を創出するとともに、文化部合同練習会等に専門指導者を派遣	8,853 千円
〔新〕 地域限定保育士試験事業	保育人材確保のため、通常の保育士試験の後期日程にあわせ、合格登録後に3年間は登録地域限定で勤務が可能な「地域限定保育士」試験を実施	10,098 千円
〔拡〕 県営住宅における子育て世帯への支援	高齢化が進む県営住宅における多様な世代構成によるコミュニティを活性化するため、ニーズの高い阪神間を中心に駅や学校等に近接した住宅において子育て世帯向けリノベーション等を実施	270,000 千円
〔新〕 ひょうごポリシーメイキングチャレンジ（ひょうご若者政策提案室）	より幅広い若者のニーズを把握や、若者が主体的に施策立案に参加できる仕組みを構築し、若者支援の新たな方向性の検討や拡充等を図ることで、「若者・Z世代応援パッケージ」の取組を充実・強化	16,091 千円

【参考】戦略推進プロジェクト R8年度の主な取組

②ひとりじゃないプロジェクト –社会的な孤独・孤立を防ぐ取組の強化–

【趣旨・狙い】

深刻化する社会的な孤独・孤立を防ぐため、多様な主体と連携してつながりを広げる取組を推進

【主な取組】

- ・支援を必要とする若者の支援の強化（ヤングケアラー、課題を抱える妊産婦、貧困世帯等）
- ・小中学校における不登校対策の強化
- ・市町との連携によるひきこもり対策や、高齢者への見守り体制の強化
- ・社会で生きづらさを感じている人の孤立防止、居場所づくり



ヤングケアラー啓発動画

【R8年度主な事業】

事業名	事業概要	事業費
〔拡〕 ヤングケアラー・若者ケアラー 支援事業	ヤングケアラー・若者ケアラーの早期発見、悩み相談、福祉サービスへの円滑なつなぎ等のための支援を実施するとともに、市町における支援体制を推進	19,655 千円
〔拡〕 ひょうご不登校対策プロジェ クト	校内サポートルームにおける不登校児童生徒への学習、生活の支援等、個に応じた支援を実施。また、不登校児童生徒が民間の施設等学校以外の場で学習を行う場合、授業料等を補助する市町を支援	567,968 千円
〔拡〕 ひきこもり対策総合支援事 業	ひきこもり状態にある方の増加に加え、対象者の属性の多様化など支援のあり方が複雑化していることから、市町単独での対応が困難な案件について、市町職員が自宅等を訪問する際の同行支援等を行う専門職を圏域ごとに配置し、市町への後方支援を強化	23,472 千円
〔拡〕 特定妊産婦等支援事業 (居場所確保・自立支援、 産前産後母子支援、課題 を抱える妊産婦支援プロ ジェクト)	予期せぬ妊娠等を理由に支援の必要性が高い妊産婦（特定妊婦等）を受け入れる場所を確保し、産前産後の心理的ケアや保健指導、生活相談、就労支援を行うとともに、自立に向けた見守りを含めた支援を継続して実施	64,300 千円

【参考】戦略推進プロジェクト R8年度の主な取組

③外国人「第二のふるさと」プロジェクト –外国人が安心して暮らし、働ける地域づくり–

【趣旨・狙い】

地域に暮らす外国人が兵庫を「第二のふるさと」として、安心して暮らし、働ける環境の整備に向けた取組を推進

【主な取組】

- ・外国人が安心して地域で暮らせる多文化共生の基盤づくり
- ・県内企業の外国人の受入促進、外国人が就職・定着できる就労環境の整備
- ・外国人の子どもへの教育支援の充実
- ・多様な文化に触れる国際交流の推進



ひょうごのキャリアフェア
inベトナム（R7.10.4）

【R8年度主な事業】

事業名	事業概要	事業費
〔新〕 地域日本語教育強化事業	令和9年度の育成就労制度移行を見据え、外国人県民と地域住民が相互に理解・尊重し合える多文化共生社会の実現を目指し、生活者としての外国人労働者等が総合的に日本語学習ができる体制を強化	3,518 千円
〔拡〕 ひょうごグローバル人材活躍 企業認定事業	地域社会で暮らす外国人が増えるなか、すべての人が安心して暮らし活躍できる多文化共生社会の実現に向けて、外国人が安心して就職し定着できるよう、働く環境が整った企業を認定する外国人雇用に関する企業認定制度を運用	22,313 千円
〔新〕 海外現地介護職員初任者 研修開講支援事業	介護人材不足への対応として、即戦力となる外国人介護人材を確保するため、海外現地での初任者研修開講費用の補助を実施	3,000 千円
〔拡〕 外国人留学生等に対する 県内企業の魅力発信	増加する外国人と県内企業とのマッチング機会を創出するため、外国人留学生を対象とした合同企業説明会やベトナム現地でのジョブフェアの開催、首都圏で開催の合同企業説明会での「ひょうごストリート」の設置等、取組を強化	28,631 千円
〔拡〕 子ども多文化共生教育支 援事業	就学支援に関する各種多言語版資料の提供や、教育相談、情報提供等を行う「子ども多文化共生センター」の運営や、日本語指導が必要な児童生徒等の母語を話すことができる「子ども多文化共生サポーター」を学校へ派遣	135,466 千円

【参考】戦略推進プロジェクト R8年度の主な取組

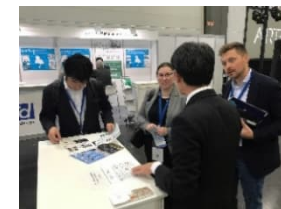
④五国の“ナリワイ”育みプロジェクト –地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組–

【趣旨・狙い】

地場産業や成長産業など兵庫に集積する多様な産業の競争力を強化し、地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組を推進

【主な取組】

- ・国内外でブランド力を向上させる地場産業の新展開
- ・次世代成長産業拠点の形成促進、ものづくり産業におけるAI・ロボティクス等の技術革新の促進
- ・スタートアップの集中的支援、第二創業や事業承継の促進
- ・地域の多様な魅力を発信する観光の促進



海外展示会での
商談の様子



梅雨期に実施した誘客キャンペーン

【R8年度主な事業】

事業名	事業概要	事業費
〔新〕 じばさん海外向けプロモーション事業	県内地場産品の更なる海外需要を高めるため、地場産業のPR・販売イベントの実施や海外バイヤーとのビジネスマッチングを創出	10,000 千円
NEXTじばさん推進プロジェクト事業	産地組合等が行う販路拡大、人材育成などのブランド力向上の取組に加え、産地の現状を踏まえた戦略的な計画策定と事業展開を支援	78,022 千円
次世代を見据えた航空機産業振興支援事業	県内に多くのサプライヤー企業を有する航空機産業のポテンシャルを活かすため、次世代の航空・宇宙産業の関するセミナーの開催や人材育成の支援等の取組を実施	25,292 千円
ものづくりスタートアップ創出・育成事業	起業家やスタートアップ等の新たなプレイヤーによる「ものづくり」領域への参入を促進するため、その創出や育成を支援する取組を実施	20,320 千円
〔新〕 閑散期における首都圏からの誘客促進事業	特に観光需要が落ち込む冬季及び梅雨期などの観光閑散期において、本県への来訪が期待できる首都圏に向けて誘客促進を図るため、モデルツアーの造成や首都圏メディアを活用したPR等を実施	9,752 千円
〔拡〕 ひょうご新観光戦略に基づくインバウンドプロモーション事業	インバウンド誘客に向けて、コンテンツの親和性や取組のテーマに応じたターゲット国へのプロモーション等を展開し、旅先としての本県の認知拡大と更なる誘客を推進	39,606 千円

【参考】戦略推進プロジェクト R8年度の主な取組

⑤ひょうご五国豊穡プロジェクト –「農」を核とした農山漁村の活性化-

【趣旨・狙い】

農林水産業の生産向上や高付加価値化に取り組むとともに、「農」を核とした活気ある農山漁村づくりを推進

【主な取組】

- ・地域資源を活かした持続可能で特色ある農山漁村づくり
- ・公民連携による県産農林水産物のブランド化、国内外の販路拡大
- ・兵庫の「食」を活かした交流の促進
- ・農林水産業のスマート化、DX化の促進



県特産品等を取り扱う
オンラインショップ

【R 8 年度主な事業】

スマート農業機器による労力削減・品質の向上

事業名	事業概要	事業費
〔拡〕 ひょうご農村RMO推進事業	高齢化・人口減少により農村の弱体化が進行する一方、地域ならではの農産品や食文化、景観等の農業資源が存在。これらを活かした特色ある持続可能な農村地域づくりの取組を実施	51,093 千円
〔新〕 フィールドパビリオン食材流通拡大促進事業	万博を契機とした兵庫県の認知度向上を好機と捉え、全国展開の飲食店で、フィールドパビリオン関連の県産食材を使用したグルメフェアを開催	4,886 千円
〔新〕 県公式オンラインショップの展開	県特産品の販売増等を目的としたECサイトを開設し、販路拡大やブランド強化の取組を実施	10,000 千円
ひょうご酒米・日本酒テロワール発信事業	「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産への登録見込を契機とした国内外での日本酒需要の拡大が見込まれるため、プロモーションの実施や試飲会等を開催	17,235 千円
ひょうごオープンファーム強化事業	持続性のある農林漁業経営の実現のため、人を地域に呼び込み、ひょうごの「農」への消費者理解を深め、伝える取組を推進	10,516 千円
スマート農業活用イノベーション事業	県内でスマート農業の普及推進を図るため、農業者の育成やWebプラットフォームによる技術導入の支援体制構築等の取組を実施	13,000 千円

【参考】戦略推進プロジェクト R8年度の主な取組

⑥五国のご縁（五縁）プロジェクト –地域や人をつなぎ、新たな価値を創出–

【趣旨・狙い】

地域で活躍するロールモデルを発掘し、交流を通じた地域や人をつなぐ縁を生み出すなど、地域創生の活動を広げる取組を推進

【主な取組】

- ・多様な主体の出会い・交流の場となるプラットフォームや拠点の構築
- ・地域のロールモデルを軸とした成功事例の横展開
- ・ひょうごフィールドパビリオンの万博後の展開
- ・スポーツを通じた地域活性化に向けた組織体制の整備や、連携事業の充実



ひょうごフィールドパビリオン
プレミアプログラム



プロチームによるバスケ教室

【R 8 年度主な事業】

事業名	事業概要	事業費
〔拡〕 地域創生コラボレーションプロジェクト	地域創生の成功事例の横展開等を図るため、各主体が地域を超えて出会い・交流するプラットフォームを構築することで、新たな事業の創出を促進	21,581 千円
地域のネクストリーダー発掘プロジェクト	新たな地域人材の発掘・育成を図るため、地域づくりのトップランナーである「すごいすと」の協力のもとインターンシップを実施するとともに、広く若者の地域活動への関心を高めるため体験内容を発信	4,958 千円
〔拡〕 ひょうごフィールドパビリオンプロモーション事業	ひょうごフィールドパビリオンフェスティバル2026の開催等を通じて、万博終了後も引き続き国内外への積極的なプロモーションを実施するほか、ロゴデザインの統一等によりビジュアルアイデンティティを構築し、戦略的な情報発信を実施	74,342 千円
〔拡〕 ひょうごフィールドパビリオンSDGs体験型地域プログラム磨き上げ事業	ひょうごフィールドパビリオンの各プログラムの一層の魅力向上を図るため、訪問者の受入向上に向けた座学・実地研修を引き続き実施するとともに、新たに商品化に向けた支援を実施	13,396 千円
プロスポーツクラブ等と連携した地域活性化プロジェクト	プロスポーツクラブ等との連携により、子どもの試合観戦招待や選手・スタッフによるスポーツ教室の開催など、子どもたちがスポーツに触れる機会を充実	48,000 千円

【参考】戦略推進プロジェクト R8年度の主な取組

- 五国のご縁プロジェクト“地域創生コラボレーションプロジェクト”の取組の一つとして『ひょうご地域創生カケルDAY』を昨年度に引き続き今年度も神戸で開催
- 地域活動を紹介する59のブースをはじめ、地域創生の新たなヒントとなる基調講演やパネルディスカッション、出展者と来場者が交流する自由参加型ワークショップ等を実施し、**分野や地域を越えたコラボレーション**を生み出す

『ひょうご地域創生フェス2026 カケルDAY』開催概要

- 日 時 2026年9月3日（木）11:00～18:00
- 場 所 KIITO デザイン・クリエイティブセンター神戸
- 出展者 地域創生に取り組む個人・団体・企業・学生・行政など [59ブース]
- 内 容

① 地域創生に取り組む方々のブース出展

- ▶ 現在の活動紹介やパネル展示等に加え、強みやニーズを可視化したポスターを通じて他者との交流を促進

② 地域創生の実践者による基調講演やパネルディスカッション

- ▶ 地域創生の実践者（奥田氏、萩原氏）による基調講演
- ▶ 兵庫県地域創生アクション委員会と出展者とのパネルディスカッション 等

③ 出展者や来場者も巻き込んだ交流イベント

- ▶ 誰でも自由に参加が可能なワークショップを実施

④ 学生ブースや飲食ブースの出展

- ▶ 学生による地域活動の紹介や地域創生に関する研究内容の発表
- ▶ 地元事業者の飲食ブースも出展



奥田 絵美氏
（株）ママそら代表取締役



萩原 英治氏
萩原珈琲代表取締役

